

広沢だより

令和7年度3月臨時号
京都市立広沢小学校

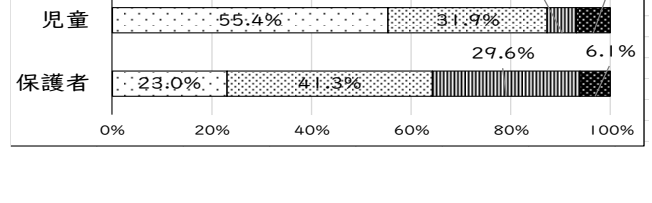
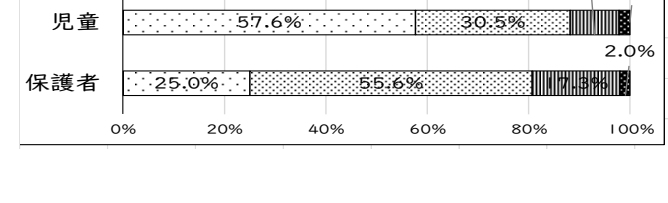
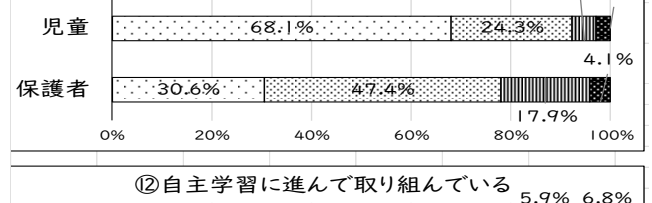
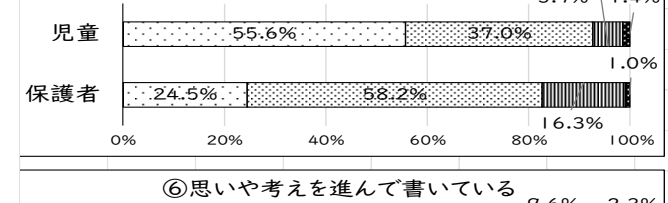
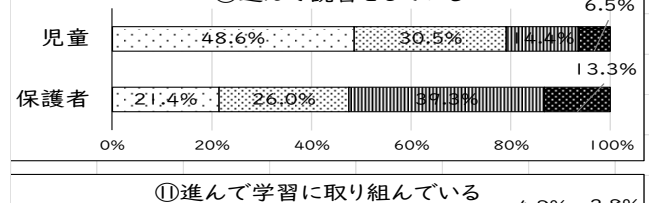
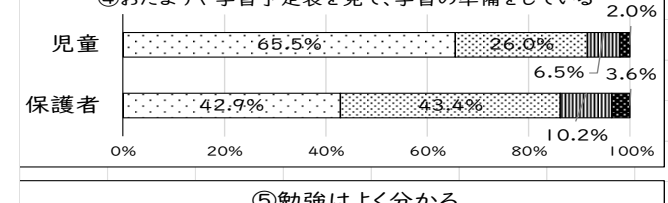
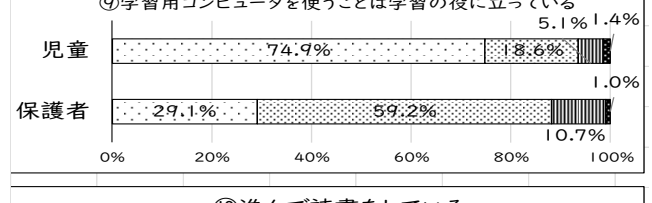
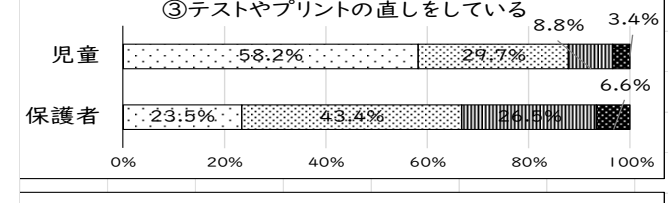
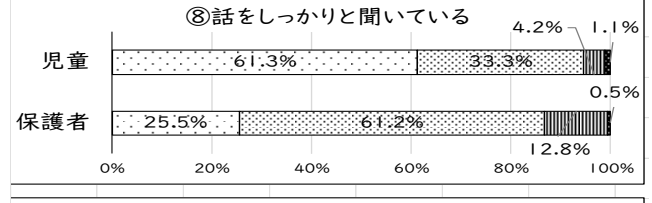
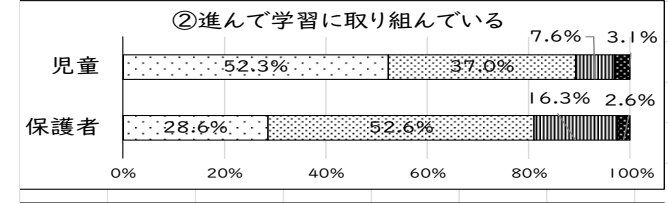
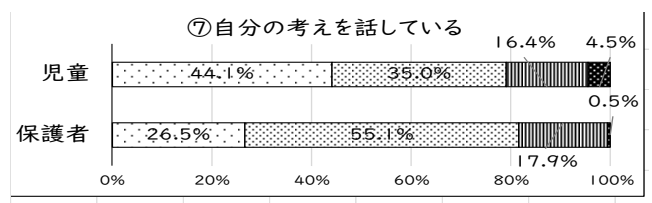
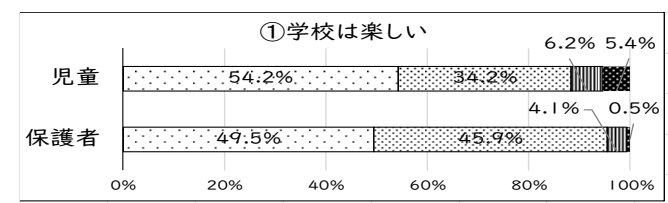
《学校教育目標》未来に向かって、自分らしく笑顔で取り組む広沢の子
～何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成～

学校評価アンケート結果のご報告

12月に「学校評価アンケート」を実施しました。今回は昨年同様、児童・保護者の皆様ともに Forms を活用して実施しました。たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。その結果から考えられる成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様よりいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

「確かな学力」の育成に向けて

□ そう思う □ だいたいそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない



楽しい学校、確かな学力を目指して

本校では、今年度、楽しくわかりやすい授業をめざして、「レジリエンスカ・対話力・自己指導能力の育成～子どもと創る授業力を追求する～」という研究主題のもと、「算数科」「特別の教科道徳」を中心とした校内研究を進めてきました。「学校は楽しい」に対する「そう思う」「だいたいそう思う」という子どもの肯定的な回答が、前期よりもわずかに増えました。授業の中で、子ども達が対話を通して意欲的に学習を深め合うことを大切にしてきました。友達と学び合うことで「楽しさ」を感じてくれているのは研究の取組の成果が表れていると言えます。

しかし、「自分の考えをしっかりと話している」「先生や友達の話もしっかり聞いている」という項目の子ども達・保護者の肯定的な回答が、前期より下がりました。

	児童			保護者		
	R7前期	R7後期	前期と後期の差	R7前期	R7後期	前期と後期の差
⑦自分の考えをしっかりと話している。	85.0	79.1	-5.9	88.9	81.6	-7.3
⑧先生や友達の話もしっかりと聞いている。	96.7	94.6	-2.1	89.7	86.7	-3

毎日の授業の中でも自分の思いや考えを伝える場をつくってはいますが、これを保護者の方に見ていただく機会が授業参観だけになっています。そこで、来年度は生活科や総合的な学習の時間の発表や交流など自分の思いや考えを発表する場、友達の思いや考えを発表する場を「学習発表会」として保護者の方にも見ていただくと考えています。

また、今年度も行っていた、授業の中で自分の思いや考えを伝えるためにスモールステップを設定して、積み重ねて力をつけていくような取り組みを継続していきます。

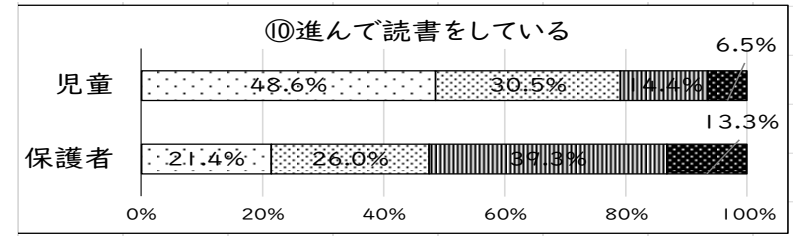


本を読む習慣を大切に！

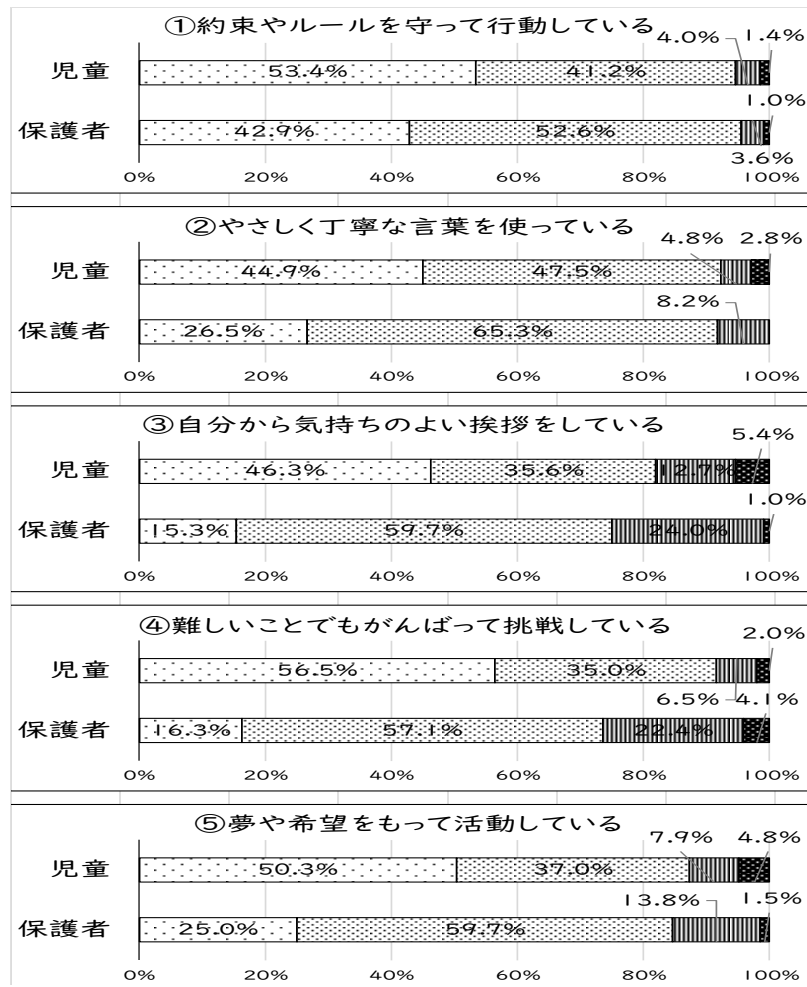
今回の結果では、「進んで読書をしている」の結果も、前期よりも「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的回答が減りました。またアンケート項目全体を見ても、肯定的回答が少ない項目です。児童の肯定的回答は79.1%保護者は47.4%と児童と保護者の認識の差も大きいです。

学校では、本に親しんでいる子ども達ですが、家庭では読書をする時間を確保するのが難しいようです。学校では毎朝10分間の朝読書の時間には自分の好きな本を手にとり静かな時間を過ごしています。国語科学習の関連図書を読んだり、生活や総合的な学習の時間に調べ学習をしたり、学習にも多いに活用しています。学校図書館の利用率も高く、本の予約をして借りるのを楽しみにしている子もいます。

今後も、学校では、本に親しむ取組を大切にしていきたいと思えます。ぜひご家庭でも家族で本を読む時間や図書館等に行く時間を作り、読書に親しんでください。



「豊かな心」の育成に向けて



「豊かな心」の育成に向けて

「約束やルールを守って行動できている」「やさしく丁寧な言葉を使っている」の項目は、前期とほぼ変わらず、子ども・保護者ともに肯定的な回答が90%を超え、大変よい結果と言えます。お家での継続的な働きかけが、子どもたちの規範意識や言葉遣いにつながっていくと考えられます。引き続き、学校と家庭が同じ思いで、子ども達の「豊かな心」を育てていくことが大切だと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

しかし、今年度は放課後や休日、オンライン上など大人の目の届かないところでのトラブルもありました。子どもたちの自己指導能力を高め、自分で判断して行動していけるように学校でも指導していきたいと思えます。



「健やかな体」の育成に向けて

「テレビ・ゲームの時間を決め、早寝・早起きをし、時間を考えて生活している」の肯定的回答が、児童・保護者ともに前期より下がってしまいました。ゲーム・動画の時間を減らすように考えている児童と、ゲーム・動画の時間が増え生活リズムが乱れている児童の両方がいます。

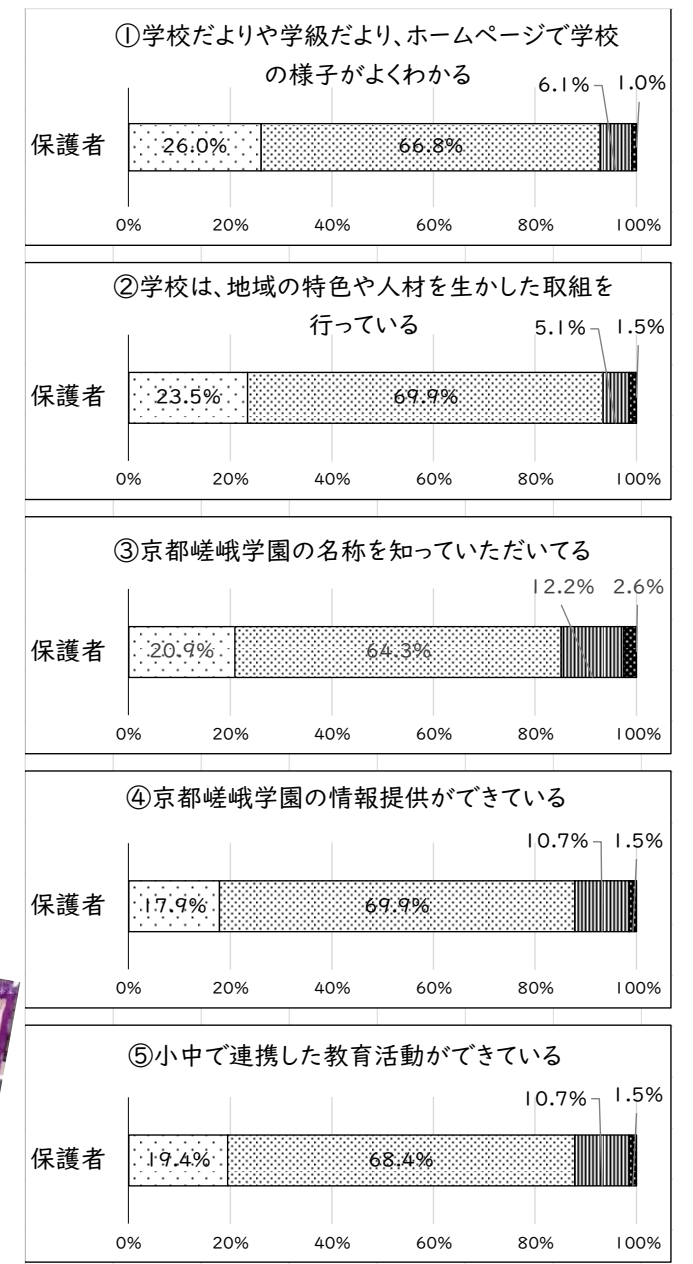
また「すすんで外遊びしている」の肯定的回答の児童は変わらないのに対して、保護者は8.5ポイント下がっています。読書の項目と同じように、子どもたちは、学校での外遊びを楽しんでおり、今年度は50m走の平均タイムも伸び「走る力」もついてきています。しかし、ボール遊びができる公園が少なかったり、今年度は熊の出没情報があつたりして、身近に遊ぶ場所が減ってきています。学校でも「すこやか週間」などの取組を通して、体を動かすことの大切さを伝えていきたいと思えます。



地域・PTA・京都嵯峨学園との連携について

- ・「学校の様子がよく分かるか」については、肯定的な回答が92.9%でした。アプリ「すぐーる」で学校だよりや学級だよりを配信しています。いつもお読みいただきありがとうございます。急な学級閉鎖や健康観察などにもすぐにご対応いただきました。
- ・京都嵯峨学園についても、前期と変わらない傾向で多くの保護者に知っていただいているようです。3月には、本校3年生が京都嵯峨学園の小学校の3年生と「学校じまん」のオンライン交流をしました。
- ・1年生と年長児との交流で、社会福祉協議会さまにお世話になり「むかしあそび」をしました。今後も、幼保小連携、架け橋プログラムを充実させていきたいと考えています。

地域・PTA・京都嵯峨学園との連携について



学校運営協議会理事会でのご意見

- ・授業を通して、学力だけでなく、子どもの生きる力を育ててほしい。
- ・地域で見守ってくださっている方に挨拶だけでなく「いつもありがとうございます」と言える子もおり指導の成果だと感じる。
- ・たてわり活動、京都嵯峨学園、架け橋プログラムなどで、異年齢の関わりがあることはよい。

後期学校評価を終えて

たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。保護者の皆様・地域の皆様には、いつも温かいご支援をいただき心より感謝しております。これからも子どもたちの成長を共に見守っていただけますと幸いです。